

教科	農業	科目	総合実習Ⅱ	単位数	2単位	学年	3年	コース	F全
使用教科書	なし			使用副教材等	実習記録簿				

目標	農業生物の育成と環境保全に関する実習を通して、農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行い、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力について育成することを目指します。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることができている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うことができている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付けることができている。
評価方法	・実習状況の観察 (実習内容を理解し、行動することができているか) ・実習記録簿 (知識・技術に関する記述)	・実習状況の観察 (実習内での自身の役割を把握し、的確に判断できているか) ・実習記録簿 (自分なりの考察についての的確に表現)	・実習状況の観察 (主体的・協働的に取り組んでいるか) ・実習記録簿 (振り返りや改善策を考え、今後の実習で実践していく姿勢がみられるか)

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中(夏・冬・春休み)や土日祝日、放課後などに行う実習となります。半日、一日など実習時間は様々です。 ・100%出席しなければいけません。出席状況に関して特に厳しいので気を付けて下さい。 ・主に屋外での実習となり、夏の暑い日、冬の寒い日など厳しい気候のなかで行われることもあります。どんな時でも農業実習に意欲、関心を持って取り組んでください。 ・実習服(帽子、ベルト、地下足袋、皮手袋を含む)を忘れないようにしてください。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1 5 2	7 ~ 12	<p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ○はたのう市場 ・販売実習、会場準備 <p>○木工 折りたたみテーブル、積み木づくり</p> <p>○林大、県庁について 林大、県庁の職員の方からの講義</p> <p>○車両系建設機械講習 車両系建設機械の免許取得</p> <p>○木工教室 地域の小学生等に向けた木工教室</p> <p>○木工場視察 四万十ヒノキや軽トラサウナについて学ぶ</p>	<p>【知識・技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合実習Ⅱを学ぶ目的を理解する ・遅刻、欠席時の対応について理解する ・一年間の大まかな流れについて理解する ・基礎基本的な農機具の名称と使用方法を理解し、実際に使用することができる ・総合実習Ⅰや農業と環境で学習したことを踏まえ、身に付けた基本的な知識・技術を実践することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業内容を把握し、自分の役割を理解し、考えながら行動することができる ・実習記録簿に、自分なりの課題や考察、気づきを記入できている <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、欠席がなく、仲間と協力しながら作業に取り組むことができる ・どんな作業も、最後まで粘り強く取り組むことができる ・実習記録簿に、自分なりの課題や考察、気づきを記入できている
3	1 ~ 3	<p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シイタケ駒打ち・スイートコーン播種 シイタケ原木へ種駒の植え付け作業 ドリルの使用方法 	<p>【知識・技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様に対するの対応の仕方や種駒の植え付け方法など、基本的な知識・技術について理解し、実践することができる。 ・シイタケ栽培に適した樹種や植え付け時期を理解することができる ・スイートコーンの品種名、基礎基本的な農機具の名称と使用方法を理解し、実際に使用することができる <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業内容を把握し、自分の役割を理解し、考えながら行動することができる ・実習記録簿に、自分なりの課題や考察、気づきを記入できている <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力しながら作業に取り組むことができる ・どんな作業も、最後まで粘り強く取り組むことができる ・実習記録簿に、自分なりの課題や考察、気づきを記入できている